

## 6 次産業化部門の充実による経営の安定に向けて

対象者 水口町 (有)R ファーム

### 【普及活動のねらい】

R ファームは、水田 107ha で水稲、野菜、花、果樹等の栽培、作業受託および加工品生産とともに、直売所等を経営する県下有数のメガファームです。今後の経営発展のためには、6 次産業化部門を充実させることが重要であるとの思いから、平成 30 年 7 月には直売所を移転するとともに新たに農家レストランを整備されました。



レストラン外観

しかし、6 次産業化部門の充実を図ったものの、発展戦略が明確でない、ヒット商品の不足、コロナ禍による売上低迷等の課題があり、これらの課題の解決を図るべく、コロナ禍に対する安全対策を早急に確立するとともに、リピーターや新規顧客に訴えかける新メニュー、新品目、新加工品の開発等に取り組みました。

### 【普及活動の内容】

#### 6 次産業化部門発展戦略会議（以下「戦略会議」）の開催

6 次産業化部門の課題を整理し、今後の発展戦略を検討するため、生産部門と 6 次産業化部門の責任者と関係機関で、定期的に戦略会議を開催するよう誘導しました。

8 月に開催した戦略会議では、加工品開発担当や人員の確保、新商品の開発計画、プランナーの招へい時期等、現在 6 次産業化部門が抱える課題について検討しました。

#### 新商品の開発

ヒット商品開発に向け、農家レストランの新メニュー、新加工品、新品目の開発のため、6 次産業化プランナーを招へいして開発方針を検討し、試作品の開発や販売戦略の検討等をすすめました。

#### 安全安心対策の確立

コロナ禍に負けない 6 次産業化部門を確立するため、HACCP や各種のコロナ対策の円滑な実施を支援しました。

### 【普及活動の成果】

新商品の開発については、レストランの新メニューでは、秋ナス料理、直売所の新品目では、アイメック農法で生産した高糖度のトマトである「アイメックトマト」と、自社の栽培基準をクリアした高糖度のスイカである「あめだまスイカ」が開発できました。両商品とも売り上げが好評で、今年のヒット商品となりました。

コロナ禍により、特にレストラン部門の売上が低迷していましたが、事業を活用したコロナ対策整備や HACCP の衛生管理計画策定、「みんなでつくる滋賀県安心・安全店舗認証制度」の認証取得等の安全対策を速やかに実施したこともあり、客足は順調に回復しています。

当普及指導センターは、今後も R ファームと協議を重ねながら、6 次産業化部門が順調に発展できるよう支援していきます。